

名古屋大学大学院生命農学研究科
 応用生命科学専攻 植物統合生理学研究室 助教公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻植物統合生理学研究室
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を進めることにより、食・環境・健康の増進・向上に貢献することをミッションとしています。その中で、植物統合生理学研究室（中道範人教授）は、大学院生命農学研究科および農学部において植物生理・分子生物学に関連する研究と教育を担当しています。特に植物が環境の周期的な変化を感知し、自らの生理現象を秩序立てるしくみを、分子遺伝学・生化学・マルチオミクス研究によって解明することに挑戦し、この知見を基盤とした植物生産性の向上に資する新たな技術の開発に取り組んでいます。</p> <p>この度の公募により採用する教員には、上記に関連した研究分野で優れた研究業績をあげつつあり、中道範人教授と協力して先端的で優れた研究を推進するとともに、大学院・学部での研究指導と教育に熱意と責任感、協調性をもってあたる人物が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院生命農学研究科および農学部における研究と教育 ・生命農学研究科の運営に関連する業務 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 学部 応用生命科学実験実習、卒業論文研究等</p> <p>(2) 大学院 博士前期課程：生命農学演習、修士論文研究等 博士後期課程：博士論文研究等</p> <p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p>

		[勤務地]	愛知県名古屋市千種区不老町
		[募集人員]	助教（テニュアトラック）・1名
		[着任時期]	2022年12月1日以降早い時期
4	募集研究分野	大分類	農学（農芸化学）、生物学
		小分類	応用生物化学、植物分子および生理科学
5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・植物を対象とする分子生物学や生理学を専門とすること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2022年6月23日～2022年8月31日	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） (2) 履歴書 (3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） (4) 現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） (5) 今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） (6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（800字程度） (7) 現在までの研究費獲得状況（科学研究費助成事業（科研費）等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額（直接経費）を明記のこと） (8) 大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（400字程度） (9) その他（国内外の学会招待講演、学術関連受賞、教育実績、学協会関連活	

動、社会貢献など選考の参考になる事項)

(10) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス

(11) 「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」
(10 その他のリンク先に提示した書式のもの)

(12) 論文等の PDF ファイル (主要なもの5編以内)

[書類送付先]

- ・上記の(1)～(11)を1つのPDFファイルにまとめ、(12)のファイルとともにフォルダに入れ、ZIP形式に圧縮したものを、以下のアドレスに添付で送信してください。
- ・メールのタイトルは「応用生命科学専攻植物統合生理学研究室助教応募(氏名)」としてください。
- ・ファイルサイズは全体で30MBを超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、ファイル共有サーバー等をご使用ください。
- ・受領確認のメールを返信しますので、送付後1週間以内に受領確認メールが届かない場合には必ず委員長までメールにてお問い合わせください。

書類の送付先アドレス(電子メール): (koubo-pp[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)

[問い合わせ先]

名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻植物統合生理学研究室助教選考委員会委員長 中道 範人

送付先アドレス(電子メール): (nnaka[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。)

[選考内容(選考方法、採否の決定)]

- ・書類選考の上、面接(対面もしくはオンライン)を実施することがあります。なお、対面型の面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。
- ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。

10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 <li style="padding-left: 2em;">※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 <li style="padding-left: 2em;">http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 <li style="padding-left: 2em;">これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。書式は、以下のリンクのものをご利用ください。 <li style="padding-left: 2em;">https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html
----	-----	--